

「第26回国民文化祭・京都2011」の南丹市事業は、10月29日から11月6日まで、南丹市立文化博物館、南丹市国際交流会館を中心に、周辺一帯で開催します。

国民文化祭の主テーマ「美術展工芸」と、南丹美術工芸教育展、南丹工芸文化祭、京都工芸美術作家協会展などの同時開催により、「南丹ものづくりの祭典」として、南丹市ならではの、京都ならではの彩りを添えて来場者をお迎えします。

子どもたちが学ぶ「ものづくり教育」の発表、特色ある高校や京都伝統工芸大学の充実した作品、市民によるすそ野の広い文化活動、そして南丹市内で活躍されている工芸作家や職人の手が生み出す用の美の作品の数々、日本と世界の文化を高めてきた京文化と伝統産業の秀逸品など、それぞれの展開を線で結ぶ催しにすることを目指しています。心に響く豊かなものづくりの世界を、見て、触れて、感じてお楽しみください。

国民文化祭

一日を満喫